



ひのまる公園と 栄小学校



《お話を聞いた小学生》
左から栄小学校6年生の
ゆりさん、なおさん、
かれんさん

《お話を教えてくれた方》
栄東連合町内会顧問
うじいさ きんいち
氏家 謹一さん



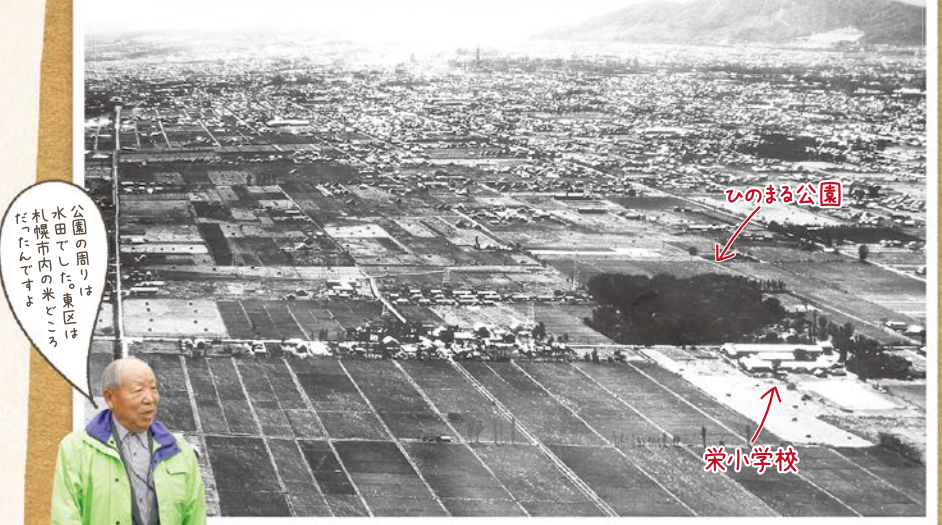
▲栄小学校の卒業生でもある氏家さん。当時はトイレが体育館の奥にあって寒かったそうです



すごい
私のころは
2学年が一緒
だよ

▲「昔はこの公園は原生林でへびも出たんだよ」という話に三人組はびっくり！
◀氏家さんが小学生だった昭和10年代の栄小学校は小学1～6年生と高等1、2年生（現在の中学生）が複式学級として4クラスで授業をしていたそうです

昔の栄東地区と栄小学校を見てみよう！



公園の周りは水田でした。東区は札幌市内の米どころだったんですよ



昭和39年に撮影された区画整理される前の栄小学校とひのまる公園(右側手前)
出典：栄東連合町内会創立30周年記念誌「星霜」



大正11年に撮影された札幌村第三尋常小学校(後の栄小学校)
出典：栄東連合町内会創立30周年記念誌「星霜」

お話を聞いて！

ゆりさん
今はマンションとか建っているのに、昔はへびが出たなんてびっくりです。

なおさん
ひのまる公園にいろんな歴史があることを知ってドラマを感じました。

かれんさん
今もいろんな人が利用できるようにひのまる公園として残してくれてうれしいです。

栄東地区には「ひのまる児童会館」や「ひのまる公園」など「ひのまる」と名付けられた場所がいくつもあります。その理由は今から110年前の明治41年、日の丸産業という民間の企業が、この土地一帯に日の丸農場を創設したことにあります。当時、創成川から水を引いて開墾された水田地帯は、札幌一の米産地として知られていました。※

その後、札幌市の発展とともに人口も増え、昭和41年に「日の丸土地区画事業」が始まり、日の丸農場跡地に「ひのまる公園」が造成されました。「この場所は原生林が生い茂り、昼間でも暗かった」という氏家さんの話に3人は信じられない様子でした。

4人の母校である栄小学校の資料室では、氏家さんが小学生だった昭和10年代後半の学校生活について教えてもらい、第二次世界大戦中は校庭の隅に防空壕があった話や、スキー学習時には自分たちで山を作った話など、貴重な話を聞くことができました。

※参考／栄東連合町内会創立30周年記念誌「星霜」